以上ノ條件ニ制約サレテ日常闘爭ノ展開サレナカツタ關係上市内ニ於ケル左京、東山ノ兩區及ビ郡部方面ニ於ケル我黨ノ組織ト影響力ハ極メテ微弱デアル。我等ハ洪水ノ如クコノ方面ヘ進出スル明日ノ闘爭ニ勇躍シツツ今コソ大膽ニ卒直ニ以上ノ弱點ヲ承認スルモノデアル。

(三)結論

以上ノ批判ニ依ツテ今後ニ於ケル運動方針ノ中心問題ハ

一、全國的戰線ノ統一及ビコレト關聯シテ地方政黨ヨリ一日モ早キ全國的政黨ヘノ結合デアリ

二、京都地方ニ於ケル組織運動ノ全府下的ニ亘ル擴大、展開デアル。

財團法人協調會大阪支所